



# 縄文時代を知ろう・4

甲州牧丘の道祖神祭り

富士眉月弧文化圏

およそ 5500～4500 年前、縄文時代中期、このあたりには「井戸尻文化」や「勝坂文化」と呼ばれる独特な文化がありました。これまでの講座で、わたしたちは、多摩丘陵・相模野台地・武蔵野台地で出土した石器、土器、土偶などから、その文化に親しみ、現在の縄文時代像についても学びました。

シリーズ・4では、子どもたちや、イノシシやシカが生き生きとして、植物が豊かに実ることを願う「祈り」について考えます。陽石(石棒)、磨り臼(石皿)、丸石とは何でしょう？ 陽石は男性の証(あかし)、磨り臼は女性の証、そして、丸石さまは、種(タネ)や赤ん坊のイメージだったとも考えられています。

**講師紹介** 藤森寛行 (ミシャグジ探偵) ・ 日野市立児童館勤務  
早稲田大学文学部卒業。故郷諏訪の郷土研究会、Suwa-Animism (スワニズム)  
諏訪信仰と中央高地の縄文時代について研究、『スワニズム』連載。  
多摩の勉強会「タマベン」講師。日本在来馬の繁殖育成、調教師。



三鷹市第五中学校遺跡の磨り臼

## 講座のテーマ 「豊かさ」を願う思い 原初の「いのり」

### 内容

- ① 1/16 (土) 石の棒 いいえ「陽石」について
- ② 2/20 (土) 石の皿 いいえ「磨りうす」について
- ③ 3/6 (土) 「くにたち郷土文化館」見学(別途ご案内)

時間 10時～12時

場所 社会教育協会「ゆうりか」  
(JR中央線 豊田駅北口 徒歩2分)

受講料 5,940 円 (3回)

申込み 下記の電話か FAX でお願いします  
TEL 042-586-6221 FAX 042-589-3626

対象 どなたでも

主催 公益財団法人 社会教育協会  
〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデラビル 3階  
<http://www.zaidan-shakyo.org>

